

10 日ロ地先沖合漁業交渉

日本とロシアとの間では、昭和 59 年 12 月に成立した「日ソ地先沖合漁業協定」に基づき、毎年、操業条件等について日ロ漁業委員会において協議が行われ、そこで妥結となった操業条件により、相手国 200 海里水域内に入漁しています。

令和 7 年の本交渉については、令和 6 年 11 月 25 日から 11 月 29 日までウェブ会議にて開催された日ロ漁業委員会第 41 回会議にて合意に至らず、引き続き協議を行うこととなりました。

(1) 合意内容

① ロシア 200 海里水域における日本漁船の操業条件等

ア. 相互入漁

区 分	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
総漁獲割当量	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t	未定(3月末時点)
総 隻 数	585 隻	585 隻	585 隻	585 隻	
協 力 金	0 円	0 円	0 円	0 円	

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚 種	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
サ ン マ	70,927.4t	56,424t	31,824t	25,824t	未定(3月末時点)
マ ダ ラ	810t	1,600t	3,200t	3,200t	
ス ル メ イ カ	5,814.25t	5,619t	5,619t	5,619t	
そ の 他	12,448.35t	11,357t	9,357t	9,357t	
計	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t	

イ. 有償入漁

区 分	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
総漁獲割当量	1,062.2t	694.66t	694.66t	694.66t	未定(3月末時点)
総 隻 数	22 隻	22 隻	22 隻	22 隻	
入 漁 料	4,112.2 万円	2,694 万円	2,694 万円	2,694 万円	

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚 種	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
サ ン マ	350t	0t	0t	0t	未定(3月末時点)
マ ダ ラ	190t	190t	190t	190t	
ス ル メ イ カ	16t	14t	14t	14t	
そ の 他	506.2t	490.66t	490.66t	490.66t	
計	1,062.2t	694.66t	694.66t	694.66t	

② 日本 200 海里水域におけるロシア漁船の操業条件等

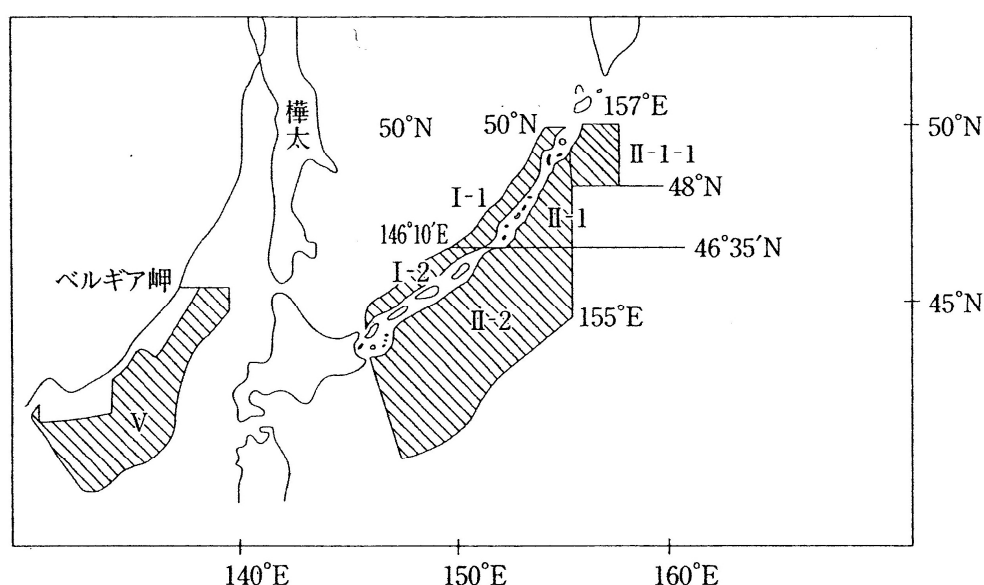
ア. 相互入漁

区 分	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
総漁獲割当量	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t	未定(3月末時点)
総 隻 数	89 隻	89 隻	89 隻	79 隻	

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚 種	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
マ イ ワ シ	23,500t	20,000t	8,000t	10,000t	未定(3月末時点)
サ バ	51,500t	45,000t	40,000t	32,000t	
イトヒキダラ	15,000t	10,000t	2,000t	2,000t	
サ ン マ	—	—	—	—	
計	90,000t	75,000t	50,000t	44,000t	

(2) 日ロ地先沖合漁業交渉操業海域図



I-1 区	千島(オホーツク海側北)	底はえ縄
I-2 区	千島(オホーツク海側南)	
II-1 区	千島(太平洋側北)	中層トロール、底はえ縄、棒受け網
II-1-1 区		中層トロール、着底トロール、底はえ縄
II-2 区	千島(太平洋側南)	底はえ縄、棒受け網
V 区	日本海	いか釣り

○有償入漁水域

II-2 区	千島(太平洋側南)	着底トロール、中層トロール
--------	-----------	---------------

資料: 北海道水産林務部

注: II-1、II-1-1 区の中層トロール・着底トロールは、遠洋底びき網

II-2 区の中層トロール・着底トロールは、沖合底びき網